

内閣総理大臣賞

部門	部	都道府県	学校名	学年	受賞者氏名	作品名
作文	第2部	茨城県	筑西市立古里小学校	6年	戸頃 結	水田のオーケストラ
	講評	<p>題名と作品の内容も一致している。作品全体を水田のある自然環境と音楽という軸で貫き、Vivaldiの楽曲「四季」のように、それぞれの季節の様を捉え、描いている文章は、読み手の想像力を掻き立てる。斬新な視点での切り口は、日常的に音楽に親しんでいるからなのだろう。自然や音楽が育んだと思われる感性の豊かさ、表現力の妙は、群を抜いていた。</p>				
図画	第3部	佐賀県	佐賀県立武雄青陵中学校	3年	高森 薫	みんなで稲刈り
	講評	<p>力強い色彩と的確な描写が見るものを惹きつけ、絵画の魅力を感じさせてくれます。5人の家族の姿からは、米作りに取り組む“みんなの心”が伝わってきます。山並みの深い緑、地面の暗い茶、黒と言ってもいい深い色の使い方が印象的で、力強い絵になっています。黄、緑、青、赤などの色の配置も巧みで、豊かな色彩感覚が光る見事な作品です。</p>				

文部科学大臣賞

部門	部	都道府県	学校名	学年	受賞者氏名	作品名
作文	第1部	宮城県	美里町立南郷小学校	2年	高橋 紗世	はじめて見たおこめの花
	講評	<p>一面に広がる田圃を見て、「いねがうれしそうにゆれて」と感じる感性の豊かさ。見落としてしまふような、小さな「お米の花」に着目した祖父との会話も微笑ましい。籾の数を数えたり、中を見て新たな発見をしたり、学びを通して「当たり前」に食していた米に対する気持ちの変化もよくまとめられている。</p>				
	第2部	広島県	呉市立広小学校	6年	相原 直	世界中にいっぱいの平和を
	講評	<p>西日本豪雨災害でご飯を食べることができなかった実体験、ヒロシマという土地で育ったこともあり、今起きている戦争にも言及し、「当たり前」に食事ができることがいかに幸福なことであるかを鋭く指摘、主張している見事な内容。自分のことから世界へと広げていく構成、文章全体のリズム感も素晴らしい。</p>				
	第3部	鳥取県	三朝町立三朝中学校	1年	北岡 武朗	お米は僕の人生に欠かせない
講評	<p>曾祖父亡き後、放置された田で、「もう一度米を作りたい」という父の夢の実現を軸に、いつも助けてくれる近所の人々のこと、父の努力とは対象的な自分の気持ちや行動も素直に表現している。努力する父の姿を誇らしく思う気持ちも、行間から伝わる。心境の変化を最後の一段落で書き切っているのも見事。</p>					
図画	第1部	埼玉県	富士見市立ふじみ野小学校	1年	小野田 志乃	ママがつくったオムライス
	講評	<p>一年生の作品。オムライスの上に描かれているのは、お母さんとお父さんでしょうか。美味しいオムライスを作ってもらった時の嬉しかった気持ちが、見るものにストレートに伝わってきます。オムレツの黄色は鮮やかで、その下のご飯もきちんと白で表現されています。</p>				
	第2部	佐賀県	鳥栖市立鳥栖小学校	5年	馬場崎 心	棚田・代かきのお手伝い
	講評	<p>海に向かった棚田。家族総出で、代かきに精を出す人々の姿が、縦構図で遠近感を出し、豊富な色を使って描かれています。陽が西に傾き、一日の仕事が終わりに近づいた頃の情景でしょうか、やがて豊かな稲穂を实らせる田の表面のリアルな描写は見事です。</p>				
	第3部	広島県	福山市立一ツ橋中学校	3年	森 絆奈	力の源は母のおむすび
講評	<p>受験勉強に励む私を、斜め上から背中越しにアップで捉えた構図が成功しています。主題のおむすびが画面の真ん中に配置され、ノートや参考書、家族写真などの細部も克明に描き込まれています。確かな描写力を感じさせる作品で、今後が期待されます。</p>					



農林水産大臣賞

部門	部	都道府県	学校名	学年	受賞者氏名	作品名
作文	第1部	福井県	鯖江市河和田小学校	3年	杉本 旬	父ちゃんのバクダンおにぎり
	講評	自分のために家族が作ってくれるおにぎり、取り分け父ちゃんが作るおにぎりについて、詳しく説明している文章からも、父親の愛情や家族の温かさが伝わってくる。大好きな父ちゃんが作ってくれる大好きなおにぎりだけど・・・最後に記した父ちゃんへの要望が、実にかわいらしく、微笑ましい。				
	第2部	山形県	米沢市立北部小学校	5年	田村 理音	ごはん一つぶの重み
	講評	父が探してくれた空き缶で米を炊く方法。その方法で米を炊く体験を通して、ご飯を炊くことがいかに大変なことかを理解していく様が、ありありと記されている。米を残すことに対して注意されることに疑問を抱いていたが、一粒の重みを知り、「米の命を大切に」するという心境の変化もよく表現されている。				
	第3部	長崎県	壱岐市立郷ノ浦中学校	1年	下村 翔渉	「まかしとき！」
	講評	曾祖母を笑顔にしようと、軽い気持ちで言った最初の「まかしとき！」と、最後の「まかしとき！」は呼応するが、最後の言葉からは、体験を通して得た熱い気持ちが伝わってくる。地域の人々に助けられ、農作業中に後悔する気持ちを、独特の比喻で表現したことも妙。ストーリー性ある展開も素晴らしい。				
図画	第1部	東京都	港区立赤坂小学校	2年	吉野 珠生	「ごはんたけたよー！ まーぜーてー」
	講評	炊きあがったばかりのご飯。立ち上るかおりに、お腹をすかせて夕食が待ちきれない兄弟の姿が印象的です。画面手前に大きく描かれた白米が全体を支配し、兄弟の気持ちを引き出しています。ご飯の米粒の感じも上手に表現されています。				
	第2部	埼玉県	朝霞市立朝霞第七小学校	5年	志堅原 結那	家族との手巻きずし
	講評	大好きな家族が作ってくれた手巻きずしの美味しかったことを思い出して描いたのでしょうか。家族二人の姿が上手に描かれ、特に見る人に問いかけてくるようなお母さんの表情に惹きつけられます。背景のカーテンにも神経が行き届き、丁寧に描かれています。				
	第3部	山梨県	甲州市立塩山中学校	2年	甘利 光琉	やっぱり白米だわ！
	講評	炊き立ての白いご飯なら何杯でも食べられるとでも言いそうな若者の、満足そうな姿が画面全体から伝わってきます。茶碗を持つ手、箸を握る手も的確に表現されています。少しラフな筆使いが、画に動きと勢いを持たせ、魅力的にしています。				

全国農業協同組合中央会会長賞

部門	部	都道府県	学校名	学年	受賞者氏名	作品名
作文	第1部	東京都	新宿区立柏木小学校	1年	田村 風葡	たすけてくれたおかゆさん
	第2部	岡山県	岡山市立大野小学校	5年	岩佐 晴子	大好きなお米の明るい未来
	第3部	茨城県	茨城大学教育学部附属中学校	3年	丸岡 奈央	祖父の想いを継いで
図画	第1部	長崎県	諫早市立真城小学校	3年	梅崎 風駕	おにぎり大好き
	第2部	茨城県	笠間市立友部小学校	5年	大関 寧	キャンプごはん
	第3部	和歌山県	和歌山市立貴志中学校	2年	梅本 菜友美	ごはんは何より欠かせない



■コンクール概要

○応募資格	小学校および中学校に在籍する児童・生徒。特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。
○課題 (作文・図画 両部門共通)	毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関する思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してもらおう。
○審査員	作文審査会委員長 中村 靖彦氏 (東京農業大学客員教授) 作文部門 設楽 敬一氏 ((公社)全国学校図書館協議会理事長) 竹村 和子氏 ((公社)全国学校図書館協議会常務理事・事務局長) 堀米 薫氏 (児童文学作家、(一社)日本児童文芸家協会理事) 真鍋 和子氏 (児童文学作家、(一社)日本児童文学者協会評議員) 図画審査会委員長 尾木 直樹氏 (教育評論家、法政大学名誉教授、臨床教育研究所「虹」所長) 図画部門 岡田 円治氏 (元(株)NHK アート代表取締役社長、日本美術家連盟準会員) 岡村 泰成氏 (美術家集団「Moss Spirits」代表、日本美術家連盟会員) 小柳津須看枝氏 (日本美術家連盟会員) 西巻 茅子氏 (絵本作家) 東良 雅人氏 (元文部科学省初等中等教育局視学官、京都市教育委員会総合教センター副所長)
○賞及び賞品	(1) 内閣総理大臣賞 (作文・図画部門各1名：計2名) 賞状と副賞 (記念盾及びお米券、記念メダル) (2) 文部科学大臣賞 (各部門各部門ごとに1名：計6名) 賞状と副賞 (お米券及び記念メダル) (3) 農林水産大臣賞 (各部門各部門ごとに1名：計6名) 賞状と副賞 (お米券及び記念メダル) (4) 全国農業協同組合中央会会長賞 (各部門各部門ごとに1名：計6名) 賞状と副賞 (お米券及び記念メダル) (5) 優秀賞 (各部門各部門ごとに15名：計90名) 賞状と副賞 (記念メダル) (6) 学校奨励賞 (内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣各賞受賞者所属校：計14校)
○主催	農業協同組合、都道府県農業協同組合中央会、全国農業協同組合中央会
○後援	内閣府、文部科学省、農林水産省、全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会、日本放送協会(NHK)、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、(公社)全国学校図書館協議会、(公社)日本PTA全国協議会、(公社)米穀安定供給確保支援機構
○協賛	全国農業協同組合連合会、全国共済農業協同組合連合会、農林中央金庫、全国厚生農業協同組合連合会、(株)日本農業新聞、(一社)家の光協会、(一社)全国農協観光協会

○応募部門・応募作品数

部 門	作文部門	図画部門	合 計
1部(小学校1年生～3年生)	9,451	25,843	35,294
2部(小学校4年生～6年生)	11,138	16,703	27,841
3部(中学校1年生～3年生)	12,657	1,865	14,522
合計	33,246	44,411	77,657

〈みんなのよい食プロジェクトとは〉

JAグループがすすめる、心と体を支える食の大切さ、国産・地元産農畜産物の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝えることで、国産・地元産農畜産物と日本の農業のファンになっていただこうという運動です。
HP (<https://life.ja-group.jp/>)



耕そう、大地と地域の未来。  JAグループ